

暴力夫との離婚成立前に新しい恋人の子ができた時・・・

★★ 離婚後の300日問題について考えてみましょう ★★



家庭内暴力、そして離婚・・・
新しい恋人との間に子供ができた
でもこの子は暴力夫の籍に？！



日本の民法では、離婚した後、女性は6か月の間再婚できません。これは、仮に女性が離婚してすぐに結婚し、間もなく赤ちゃんが生まれた場合、その子のお父さんがいったい誰なのか、よくわからなくなってしまうからです。

一方で、同じ日本の民法の中にはこんな決まりがあります。離婚後、300日以内に生まれた子は離婚した前の夫の子とみなす、というものです。この法律は、最近ニュースなどでも大きく取り上げられていますから、聞いたことがある人も多いでしょう。なぜこの法律が問題になっているのでしょうか。

日本でも離婚は年々増えています。夫の家庭内暴力（DV）が原因となった離婚も少なくありません。たとえば、夫のDVに悩まされてきたAさんという女性が、夫Bのもとから逃げだし、ようやく離婚手続をすませ、6か月待って別の男性Cさんと再婚する、とします。

Aさんは3年前に夫から逃げたものの、怖くてなかなか夫と離婚について話し合うこともできませんでした。離婚手続できたのはごく最近になってから。その間に、別の男性Cさんと親密になり、離婚した時にはCさんの子を妊娠していた、というケースです。

この場合、離婚が1月末だとするとAさんとCさんが結婚できるのは7月末。子どもが生まれるのがそれより以前だと、子どもは暴力夫Bの子として戸籍に記載されてしまいます。それがいやなので出生届を出さないと、子は公には届出のない「戸籍のない子」になります。

同じパターンで女性のAさんが外国籍だった場合を考えてみます。生まれてくる子にとって、日本で暮らすなら日本国籍があった方が有利ですから、どうやったら日本国籍がとれるかということを考えます。

子が生まれたら家庭裁判所で、前夫の子ではないことを確定します。前夫が協力してくれるなら、「嫡出否認の訴え」をしてもらいます。あるいは、妊娠前から前夫と別居していた場合は、母子の側から「親子関係不存在確認の調停あるいは訴え」をすることができます。

その後AさんとCさんが結婚してCさんが子を認知すれば、子は日本国籍をとれます。この場合、子は二重国籍になった状態です。22歳になるまでにどちらかの国籍を選択しなければなりません。父母が代理人として国籍選択する場合があります。AさんとCさんが結婚できた場合はいいのですが、結婚できない場合もあるでしょう。Cさんが生まれてきた子の認知もしてくれない場合、Aさんは子を代理してCさんに対して「実父に対する認知の訴え」ができます。ここで子が認知されると、日本国籍取得の手続が可能になります。 (解説・前田 美穂)

www.ficcc.jp/foreign/

●「インフォメーションふじみの」のバックナンバーを見ることができます

★もしもの時に役立ちます！★
「平成22年度交通災害共済会員募集」

今月は共済見舞金についてのお話です。この共済は皆さんが会費を出し合い交通事故により死亡したりけがをした時見舞金を支払う制度です。有効期間は1年間ですが、会費は一般900円、中学生以下は500円です。

不幸にして交通事故にあわれた時には、次のような見舞金が支払われます。

- ① 亡くなった時 120万円
- ② 怪我の時・1 入院1日につき2000円
通院・往診1日につき1000円
- ③ 怪我の時・2 (事故証明書が得られない時)
入院・通院・往診1日につき1000円

外国籍市民であっても外国人登録のある方ならば入れます。富士見市、ふじみ野市、三芳町以外で、地域によっては加入できない区域もありますので、詳しくは、市役所や町役場、あるいはセンターにお問い合わせください。

私は誰でしょう？ 2月は節分でした
「豆まき」をやりました



2月3日は日本の風習である「豆まき」の日です。センターの日本語教室でも豆まきを実施しました。勉強に参加した外国籍市民の皆さんが、おそれぞれが鬼の面

をかぶり、炒った大豆を食べ、1年間の無病息災を祈りました。この豆まきは日本全国で行われる行事で、豆に宿った穀物の霊の力で、さまざまな不幸をもたらす悪い鬼を追い払うことができると考えられていたからです。

豆をまくときは、戸外に向かって「鬼は外」家の中に向かって「福は内」と大きな声をかけながら、前をまく方法が一般的です。豆をまいた後は自分の年と同じか一つ多い数の豆を食べ1年間の無事を祈ります。

外国籍市民の目・不思議な日本人の風習

神田 歩

今回は「日本人の感情表現」についてお話したいと思います。日本では3月は「別れ」の季節とも呼ばれます。それは、多くの学校でクラス替えや進級や卒業式が行われ、また会社でも人事異動などがある月だからです。

よく外国人の方から「日本人は感情表現をあまりしないので、何を思っているのかよく分からない」と聞きます。サムライがいた頃の日本は感情を表に出さないことが美德とされていました。それが今にも残るのか日本人は他人の目を気にしたり、また年齢や役職による上下関係を崩すのを苦手としたりするためフランクな人間関係を築くのに時間がかかるのかもしれませんが。しかし卒業や人事異動で送り出す人を困らせず、しばしば行われる送別会には「無礼講」という言葉があります。これは役職や年齢といった関係性を越えて送別の時には少し失礼なことをしても構わないという意味です。普段は厳しくも見える日本人の上下関係もこのような会では羽目を外して楽しみ、信頼関係を築くのです。

日本人を知る近道？ 町中の天然温泉

日本人は温泉が大好き。これは縄文時代からのようで遺跡からも入浴跡が発見されていることから伺えます。そこで日本人を理解するための手近な方法として家族で温泉探検を試みてはどうでしょうか。近所にも天然温泉を売り物にするスーパー銭湯（天然温泉）が多くあります。料金は1日遊んでいても、600～700円位です。

お風呂の王様（志木市）・新座温泉（新座市）・小江戸はつかり温泉（川越市）・湯楽の里（川越市）・真名井の湯（富士見市）・むさし野温泉探ゆ記（所沢市）・まきばの湯（入間市）・ふるさとの湯（所沢市）など近くに温泉がいっぱい。若葉を見ながらのひと風呂は最高の贅沢感です。

www.ficec.jp/living/

●6カ国版の生活が「ト」を掲載しています